

増築棟の目指す姿

①誰もが利用しやすい庁舎

⇒ 高齢者や障がい者、子育て世代など、様々な来庁者及び利用者に対して、どのような配慮が必要か？

- ・分かりやすさ
- ・安全性
- ・快適性

②災害に強く安全な庁舎

⇒ 災害時において、庁舎はどのような役割を求められるか？

災害時においても、本庁業務を継続するために必要な要素は何か？

- ・市民の生命・財産の保護
- ・ライフラインの維持

③環境にやさしく経済的な庁舎

⇒ 環境にやさしい庁舎とするために必要な配慮は？

経済的な庁舎とするうえで、エネルギー消費について、配慮すべきことは？

- ・ゼロカーボン
- ・自然エネルギー
- ・先進の省エネ技術

④機能的で働きやすい庁舎

⇒ 業務の生産性を高めるために求められる執務室の環境とは？

20年・30年先の執務室の在り方を見据えた整備方法は？

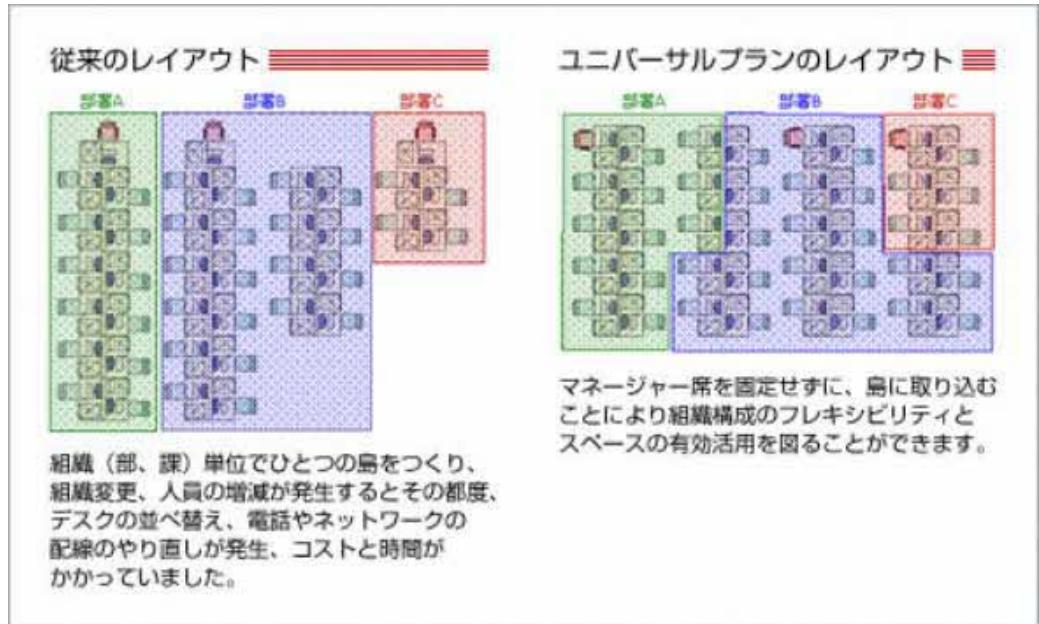
職員の働きやすい職場環境の整備に求められることは？

- ・ユニバーサルレイアウト
- ・ABW
- ・デジタル技術

○ユニバーサルレイアウト

- ・役職席を決めずにデスク数や配置を均一にするレイアウトのこと。
- ・汎用的なレイアウトのため、組織の変更や働き方の変化にも対応しやすい。

《従来型（島型）とユニバーサルレイアウトの比較》



○OABW (Activity Based Working)

- ・仕事の内容や目的に合わせて、庁舎の内外を問わずに場所を選んで仕事を進められる働き方のこと。
- ・集中して作業を進める必要があるときや、オンラインミーティングを実施する際には、専用の部屋を使用できることなどが例として挙げられる。

《ABWのイメージ図》

